

894点の古文書・絵図を新たに公開しました！ 話題を呼んだタイタニック沈没事故を伝える手紙の原本も！

群馬県立文書館では、1年につき約1万点の古文書を数回に分けて新たに公開しています。
このほど、次のとおり新たな古文書・絵図を閲覧いただく準備ができましたので、ご案内します。

1 今回公開した古文書・絵図

①北群馬郡榛東村新井 蜂巢昇二家文書 (584点)

近世～近代の漢籍などの版本や、明治期の小学校関係の資料・大山祇神社関係の文書・桃井村関係の納税領収書類といった近代の文書が含まれています。「北支事変明細図解」は、当時の日・満・露・支・蒙といった諸勢力についての図や解説が記された興味深い史料です（右図、部分）。



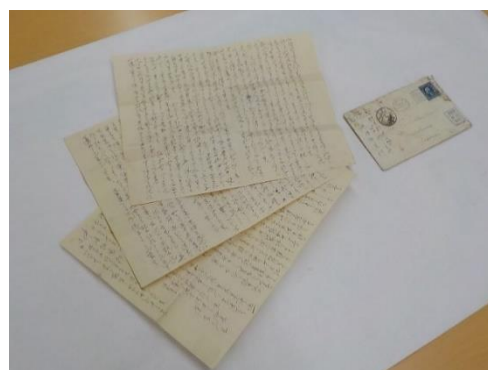
②高崎市（旧多野郡吉井町） 旧多胡村役場文書 (309点)

旧多胡村役場文書のうち、勸業・農業・養蚕関係の史料を撮影したものです。明治～昭和期の各種産業についての史料が中心になっています。

※ 複製本による公開です（原本ではありません。）。

③碓氷郡松井田町五料（現安中市） 中島徳造家文書 (1点)

1912年にニューヨークに在住していた日本人須藤元吉から、碓氷郡磯部村の中嶋拓造宛てに出された手紙です。タイタニック号沈没事件についての詳報や、アメリカ大統領選等について記されており、当時の世界情勢を窺い知ることができます。5月からの臨時展示で公開した複製物の原本になります（右図）。



その他の中島家文書についても、順次公開予定です。

2 場所 群馬県立文書館（もんじょかん） 2階 閲覧室 （前橋市文京町3丁目27-26）

3 時間等 開館時間：9：00～17：00 休館日：月曜日、月末日、国民の祝日

4 その他 撮影は無料（スマートフォンやカメラをお持ちください。）

複写は1枚につき、白黒は10円、カラーは50円

『ぐんまの古文書 続編』（1,009円）等も販売中

群馬県立文書館では、現在、約28万点の古文書（原本）、約4万6千点のマイクロフィルム収集古文書、約7万点の群馬県史収集複製資料（ともに閲覧は複製本）等を公開し、県民の皆様をはじめ、広く一般の方々、研究者の方々などにご利用いただいております。歴史の確かな証拠である貴重な古文書や絵図の原本を直接手に取ってご覧いただくことができます。

詳しいご利用方法、収蔵資料の目録、最新情報等は、当館ホームページでご確認ください。